

2012年7月15日発行

K

(社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7 2012
July
No.246

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 加賀谷善教

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[24.6.1現在]

3,387名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P7▶活動報告/会長行動報告 P9▶会員ライフサポート部報告34報
P10▶研修会・講習会 P14▶information p16▶理事会報告 P18▶ちよいんと P19▶解剖こぼれ話/洋書よみましょ
P20▶求人案内 P26▶編集後記/原稿・広告送付先

巻頭言



迷いと悩み

機能訓練特化型デイサービス 楽動 前田 大助

私が理学療法士としてまだ新人だった頃、担当する患者様の治療・訓練にあまり迷いを感じることがありませんでした。「この疾患にはこの訓練」「この症状にはこう対応する」「この人数をこなし、記録を書いたら今日はおしまい」などと、ある意味丸暗記的な「楽な選択」でよしとしていたのでしょう。振り返って自分自身の未熟さによろやく気づくことができるようになりました…。

年月とともに経験年数だけは着実に積み重なり、その間知識や技術の向上はまだまだ不十分ながら患者様やご利用者と接する中で多くの経験をさせていただきました。疾患の特徴だけで予後予測や訓練の設定をすることなく、ご家族との関係性や家屋状況、趣味や職業などの社会環境、その方の個性や人生など、様々な要素で変化を持たせる必要があります。だからこそ取り組もうとする1つの治療・訓練の効果を最大限に引き出すために、多方面に総合的に評価する能力が問われてきます。また訓練内容や方法についても知識と技術が向上するにつれ選択肢が増えてくるでしょう。取り組みたいことは多いが、優先順位をつけたり取捨選択したりと、少ない訓練時間を有効的に回復・改善に努めようと結局はまた悩むのですね。

昨年度末の3月25日に私が住んでいる小田原市において第29回神奈川県理学療法士学会を開催しましたが、その1年前に学会準備委員会を編成するにあたり、神奈川県西部で活動する先生方にお声掛けして共に準備をしてみました。その中でお互いの顔を知り、話をする中でいろいろな考え方や想いを知る機会となりました。普段の業務ではまずこれだけの理学療法士が集い、一つの大イベント成功に向け協力しあう経験はなかなかできることではありません。また最近では県士会の活動に参加することで、さらに多くの理学療法士の先生方と出会う機会が増え、いろいろなお話をきけるようになりました。明らかに以前の私より見聞が広がっていることで、凝り固まっていた自分の考え方が解きほぐされ、少ない選択肢を増やす非常にいい経験になっています。そして理学

療法の現状や未来について熱い想いを持っている方が多くいることに驚き、とにかく“動く”ことが大切なんだと教えていただきました。

しかし悲しいかな、病院施設で理学療法士が訓練する期間は以前に比して短くなり、早期退院や介護保険制度へ移行される傾向が強くなっています。私自身機能訓練に特化した通所介護施設を開業し、介護保険下でいわゆる食事や入浴サービスはなく、理学療法士による機能訓練サービスを中心に提供しているのですが、ほとんどのご利用者から「理学療法士の先生に訓練してほしい」「もっと本格的なリハビリがほしい」「まだ良くなりたくない」という声を聞きます。そして担当する介護支援専門員（ケアマネージャー）からも「理学療法士がいる介護施設が少ない」「受け入れの空きはありますか？」という問い合わせが多くあります。介護保険を利用される地域住民やそのご家族からの要望は強く、理学療法士に対するニーズは高いのですが地域で活躍される理学療法士の数はまだまだ不足し対応できていないのが現状です。そして地域や自治体で周知されているリハビリテーションとは、理学療法士よりも鍼灸・マッサージ師や看護師、運動療法士（関連する呼称はいくつかありますが）など関連他職種が提供するものが多いのではないのでしょうか。

対人（たいひと）の職業であるからこそ平均的データでは計れない経過や結果となり、理学療法士の存在価値が客観的に評価されにくい。しかし対人の職業であるからこそ理学療法士にリハビリテーションを受けた患者様やご利用者からの期待・要望の声が非常に強いことも確かです。「この地域にいれば最高のリハビリが受けられる！」そう感じていただける地域を創ること、そのためにも同じ地域で活躍する理学療法士間の連携を深め、リハビリテーションでは補えないサービスを他職種の力を借りながら、独自の『地域連携体制』を構築していくことが必要ではないのでしょうか。

まだまだ悩みが尽きません…。

新人教育プログラム

平成24年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学

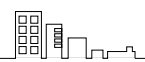
講座名	履修ポイント基準 ※1 (新テーマ)	旧テーマ ※2
必須初期研修 ※3	A-1 理学療法と倫理	I -2 職業倫理・管理運営
	A-2 協会組織と生涯学習システム	I -1 協会組織と生涯学習システム
	A-3 リスクマネジメント(安全管理と感染予防含む)	II -2 人間関係及び労働衛生
	A-4 人間関係および接遇(労働衛生含む)	II -2 人間関係及び労働衛生
	A-5 理学療法における関連法規(労働法含む)	I -4 理学療法士・作業療法士および関係法規
理学療法の基礎 ※4	B-1 一次救命処置と基本処置	
	B-2 クリニカルリーズニング	II -1 学問としての理学療法と研究方法論
	B-3 統計方法論 ※5	II -6 症例検討II
	B-4 症例報告・発表の仕方 ※5	I -6 症例検討I
理学療法の専門性 ※4	D-1 社会の中の理学療法	II -4 社会の中の理学療法
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	III -1 理学療法士と保険制度
	D-3 理学療法の研究手法論(EBPT含む)	III -2 生涯学習と理学療法の専門領域
理学療法における 人材の育成 ※4	E-2 コーチングとティーチング(コミュニケーションスキル含む)	II -1 学問としての理学療法と研究方法論
	E-3 国際社会と理学療法	
	E-1 臨床実習指導方法論	III -3 世界の理学療法
理学療法の臨床 ※4	C-1 神経系疾患の理学療法	III -4 理学療法の教育方法論
	C-2 運動器疾患の理学療法	I -5 トピックスI
	C-3 内部障害の理学療法	II -5 トピックスII
	C-4 高齢者の理学療法	III -5 トピックスIII
	C-5 地域リハビリテーション(生活環境支援含む)	II -3 生活環境支援
	C-6 症例発表	I -3 地域におけるリハビリテーション
	C-7 社会活動・社会貢献	III -6 症例検討III
計		

- ※1：履修ポイント基準とは、H24年度からの新人教育プログラムにおける新テーマの項目名です。協会ホームページ内のセミナー・講習情報閲覧画
- ※2：旧テーマとは、H23年度までの新人教育プログラムにおけるテーマです。継続して履修している場合、取得している単位が履修ポイント基準(新
- ※3：「必須初期研修」(A-1～5)：必修5単位として対象者は必ず受講する必要があります。
- ※4：選択10単位は、「理学療法の基礎」(B-1～4)：選択3単位、「理学療法の臨床」(C-1～7)：選択4単位、「理学療法の専門性」(D-1～3)：選
- ※5：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除(平成24年度入会者より該当)。申請の必要はありません。協会ホームページ内
- ※6：重複した履修ポイント基準(テーマ)を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。
- ※7：新人教育プログラムの修了要件は、これまでの18単位から15単位の履修になります。また3年間のステップアップ方式は撤廃され1年で修了
- ※8：「理学療法の臨床」(C-1～7)は、下記の講習会で履修可能です。
- ※9：県士会ホームページ内「単位・修了認定書」→「新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請、認定要件」に従って申請してください。

選択研修(「理学療法の基礎」(B-1～4)、「理学療法の臨床」(C-1～7)、「理学療法の専門性」)

講習会名	日時	テーマ	講師名(敬省略)
第1回講習会	9月30日(日)	物理療法と運動療法の複合効果を活用することの意義	川村 博文
第2回講習会	12月16日(日)	軽症脳梗塞の再発予防 - その実態把握とリスク因子の同定に挑む -	山田 純生
第3回講習会	平成25年1月27日(日)	運動連鎖(皮膚の運動学)	福井 勉
第4回講習会	平成25年1月以降(未定)	小児関連(詳細未定)	(未定)
リーダー研修会	10月21日(日)	理学療法研究における統計結果の解釈(基礎編) ～臨床・研究に生かせるデータ解析学～	対馬 栄輝
会員ライフサポート 部主催研修会	10月28日(日)	今さら聞けないシリーズ3「脳画像のみかた②」	田中 一秀

※理学療法士協会主催 理学療法士講習会(基礎編)、学術大会における新人教育プログラム、ブロックPT学会における新人教育プログラム、他都
 ※上記以外：日本理学療法士協会ホームページ、JPTA ニュース、神奈川県理学療法士会ホームページ、神奈川県士会ニュース等でご確認ください。



術講習会・研修会予定 (生涯学習部・学術講習部・臨床実習教育部、会員ライフサポート部)

必須選択		修了要件 (単位数) ※ 6	研修会名	開催日	会場
必須	選択				
1		1	第1回新人教育 プログラム研修会	6月24日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
1		1			
1		1			
1		1			
1		1			
	1	3	第2回新人教育 プログラム研修会	9月9日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
	1				
	1				
	1				
	1	2	第3回新人教育 プログラム研修会	12月2日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
	1				
	1				
	1	1	第1回臨床実習 教育部主催研修会	9月9日(日)	町田市文化交流センター
	1				
	1	4	第2回臨床実習 教育部主催研修会	平成25年1月27日(日)	ウィリング横浜
	1				
	1				
	1				
	1				
	1				
	3	15 ※ 7	PT協会主催理学療法士講習会(基本編)への参加、各都道府県士会主催の研修会・講習会への参加、学会における新人教育プログラムなど ※ 8		
	1		学術発表・論文発表 ※ 9		
	1	各都道府県理学療法士会が認定した活動に参加			

面 (<https://www.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>) の詳細情報でご確認ください。
テーマ) に対応しています。協会ホームページ内「マイページ」にてご確認ください。

択2単位、「理学療法における人材の育成」(E-1～3)：選択1単位となります。
「マイページ」にてご確認ください。

可能となります。

(D-1～4)、「理学療法における人材の育成」(E-1～3) に該当する講習会・研修会

所 属	会 場	履修ポイント基準
甲南女子大学看護リハビリ テーション学部	昭和大学藤が丘病院C棟講堂	C-2 運動器疾患の理学療法
名古屋大学医学部保健学科	ウィリング横浜 研修室C	C-1 神経系疾患の理学療法
文京学院大学 (未定)	横浜市福祉センター (未定)	C-2 運動器疾患の理学療法 C-1 神経系疾患の理学療法
弘前大学医学部保健学科	横浜国立大学医学部 ヘボンホール	B-3 統計方法論
(株) AwesomeLife 代表	ウィリング横浜 12階	C-1 神経系疾患の理学療法

道府県士会主催研修会・講習会、士会PT学会における新人教育プログラム

新人教育プログラム

平成24年度新人教育プログラムに関するお知らせ

生涯学習部

平成24年度より新人教育プログラムが変わりました。つきましては、新人教育プログラム修了までの流れおよび手続きについてお知らせいたします。

I. 新人教育プログラム修了までの流れ (図)

新人教育プログラムは計15単位を1年以上かけて履修することで修了となります。今年度より履修単位の管理は日本理学療法士協会が一元管理します。

1. 「マイページ」による履修状況の確認

前年度以前の入会で新人教育プログラムを履修中の方は、必ずPT協会ホームページ内「マイページ」で履修状況を確認し、履修継続の方は必要な単位を確認して受講してください。

2. 新人教育プログラムの修了申請

修了済みになっている方は、「マイページ」内で修了申請をしてください。仮修了となりますので、続けて専門領域研究部会への入会処理をすることで修了となります。「新人教育プログラム修了証」がPT協会事務局より送付されます。

II. 新人教育プログラムの単位取得

新人教育プログラムの修了要件は、これまでの18単位から15単位の履修になります。(理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては13単位)

15単位は、必修5単位、選択10単位で構成され、必修5単位は「必須初期研修」(A-1～5)として対象者は必ず受講する必要があります。

選択10単位は、「理学療法の基礎」(B-1～4)は4テーマの中から3単位、「理学療法の臨床」(C-1～7)は7テーマの中から4単位、「理学療法の専門性」(D-1～3)は3テーマの中から2単位、「理学療法における人材の育成」(E-1～3)は3テーマの中から1単位を取得することが義務づけられています。このように、B～E4項目の講座からそれぞれ規定の単位数を履修することになります。理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては、協会の指定する2単位(「統計方法論」および「症例報告・発表の仕方」)が免除されます。「平成24年度より新人教育プログラムの内容が大きく変わります(第1報)」県士会ニュースH24年3月号No.244参照)

なお、重複した履修ポイント基準(テーマ)を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。

1. 受講の仕方

受講希望者は、これまで同様にWeb受付にての事前登録をしていただきますが、PT協会が事前に受講予定者一覧としてデータを作成する関係上、当日受付は一切できません。必ず事前にWeb受付をして受講してください。

2. 会員証による入退室管理

会員証は、受付処理および受講確認のために必要ですので必ずお持ちください。受講開始時と終了時に使用します。

3. 受講研修会

神奈川県理学療法士会主催の研修会で受講できますが、他都道府県士会で企画される新人教育プログラム研修会でも受講可

能です。「平成24年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」をご覧ください。全国の研修会情報は、協会ホームページ内「学会研修会情報」をご参照ください。

4. 単位認定について

協会や各都道府県士会主催の研修会や講習会の受付にて登録されます。受付において受講開始時と終了時の2回会員カードをかざすことで登録が完了します。ただし、どちらか確認できない場合登録ができない可能性がありますのでご注意ください。なお「マイページ」には、研修会の終了後1週間ほどで反映されます。

①「C-6 症例発表」の単位認定

県士会ホームページ内「単位・修了認定書」→「新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請、認定要件」に従って申請してください。

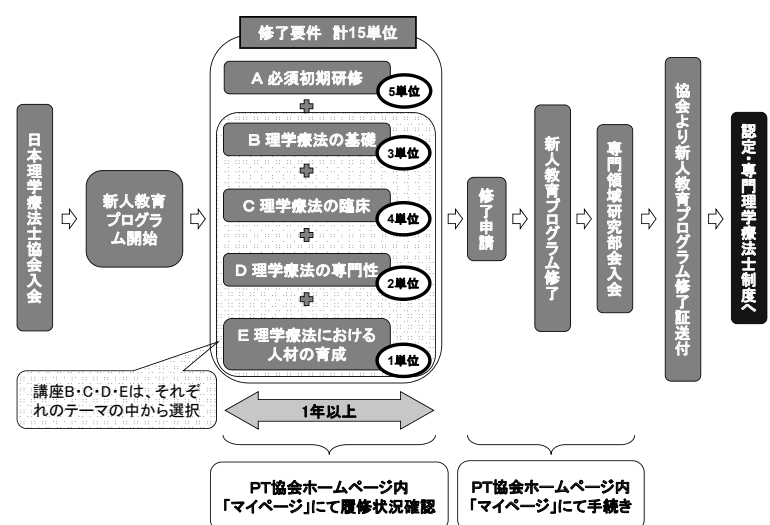
②医療福祉eチャンネルの新人教育プログラム

現在、認定方法についての情報がありません。もうしばらくお待ちください。

③協会・各都道府県士会以外主催の研修会について

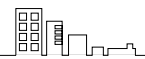
協会ホームページ内のセミナー・講習情報閲覧画面 (<https://www.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>) の詳細情報にて新人教育プログラム対応かを確認して受講してください。

図)新人教育プログラム修了までの流れ



●お問い合わせ

生涯学習部データ管理係 田中健康
(七沢リハビリテーション病院脳血管センター)
data2@pt-kanagawa.or.jp



平成24年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

神奈川県理学療法士会学術局生涯学習部

この度は、平成24年度の第2回新人教育プログラム研修会を開催しますのでお知らせいたします。

- 1.開催日：平成24年9月9日（日）9:00-16:00 受付開始8:30
- 2.開催地：神奈川県立保健福祉大学 講堂
- 3.交通：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分（案内図参照）
※当駅は快速・特急が停車しませんのでご注意ください。車で
の参加はご遠慮下さい（駐車場の準備はありません）
JR横須賀線「横須賀駅」からバス「平成町循環」、「防衛大学」、
「観音崎」、「堀内」、「かもめ団地」行きのいずれかに乗車し、「聖
徳寺坂下」で下車。徒歩2分。

- 4.受講費：1000円
（研修会当日に何単位受講しても、受付時に支払うの
は一日につき1,000円のみです。）

- 5.内容：新人教育プログラム研修会
※本年度の研修プログラムは、日本理学療法士協会から示され
た共通学習要綱を基に生涯学習部の担当者が講義を行います。

- 6.申込方法：申込は、事前Web登録方式ですので申込期間内に神
奈川県理学療法士会ホームページから事前Web登録を
行ってください！

原則的には、通知された会員番号を用いて事前Web
登録を行っていただけます。

しかし、種々の理由により会員番号がない場合でも
事前Web登録が行えるようには登録システムを組ん
でいますので、事前Web登録を必ず行ってください。
なお、事前登録で申請したテーマ以外は単位認定で
できません。ご承知おきください。

- 7.定員 450名（先着順）

申込開始日：平成24年8月6日（月）

申込締切日：平成24年8月31日（金）

※会場の関係上、事前登録期間内に定員に達した場合には登録
を締め切らせていただきますので、早めに登録されることを
お勧めします。

時間帯	研修会テーマ	単位
9:00-10:00	B-1. 一次救命処置と基本処置	1
10:10-11:10	B-2. クリニカルリーズニング	1
11:20-12:20	D-1. 社会の中の理学療法（政策含む）	1
昼食		
13:20-14:20	B-3. 統計方法論※	1
14:30-15:30	B-4. 症例報告・発表の仕方※	1

※理学療法養成機関で学士および高度専門士を取得した会員は、
「統計方法論」および「症例報告・発表の仕方」の2単位が免
除されます。（平成24年度入会者より該当）
高度専門士を取得しているかどうかわからない会員は、卒業
した養成校にお問い合わせください。

注）本研修会よりカードリーダーによる受講受付となります。
必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

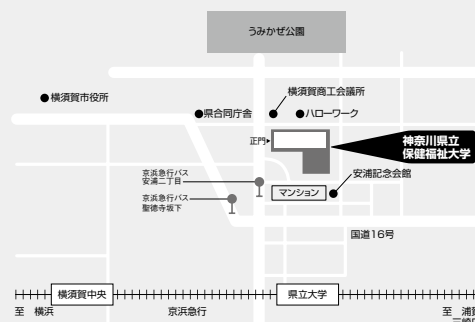
注）研修が終了したら、改めて終了受付があります（途中で帰
宅する人も含む）。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位
認定できない場合がありますので、注意してください。

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

E-mail : reha-ykh@ykh.gr.jp

生涯学習部 部長：木村 充広

案内図



結(ゆい)訪問看護ステーション

小田原市堀之内194-4

<http://business4.plala.or.jp/ashiriha>

地域リハビリテーションセンター

小田原市堀之内253-1

児童デイサービス Well

予防専門デイサービス Well

小田原市久野469

在宅生活を支える

足柄リハビリテーショングループ

ARS

看護とリハビリテーション

のことなら何でも

看護師・PT・OT・ST

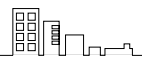
募集

医療・介護・自立支援法
地域支援事業など

是非一度

見学にいらしてください！

新人教育プログラム



新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請、認定方法の変更のお知らせ

2012年4月より新人教育プログラムが改定されたことに伴い、症例発表の認定方法も一部変わりました。

以前のニュースや県士会HPに変更内容が明記されておりますので、変更内容をよくご確認ください。

そのうえで、症例発表の認定を希望される方は以下の内容をよくご確認いただき、申請を行って下さい。

1. 資格

- 1) 新人教育プログラム「理学療法の臨床」の選択必修4単位のうち、『C-6 症例発表』で3単位の取得を希望する会員
- 2) 申請者が学術発表の筆頭演者、または論文発表の筆頭執筆者としての実績を有すること
- 3) 学術集会および学術誌基準例
学術集会：日本理学療法学術集会、関東甲信越ブロック理学療法士学会、神奈川県理学療法士学会、ほか
学術誌：理学療法学、神奈川県理学療法士学会会報「技術と研究」、ほか（商業雑誌含む）
上記以外の発表でもご相談下さい。審査の上、ご連絡致します。

2. 申請方法

- 1) 必要書類：単位認定申請書、返信用はがき（宛名明記）、学術集会（学術誌）概要が分かる資料（プログラムなど）のコピー、発表抄録（論文抄録）のコピーを同封し生涯学習部新人教育係へ送付してください。
- 2) 申請・認定・登録費用：
2012年4月1日以降に発表したものを申請する場合：無料
2012年3月31日までに発表したものを申請する場合：1,000円

<下記のいずれかに個人名で振り込んでください（振込手数料は申請者の自己負担をお願いします）>

銀行振込：ゆうちょ銀行 ○二八（ゼロニハチ）支店
普通預金 口座番号：7999339

口座名義 社団法人 神奈川県理学療法士会

郵便払込：口座番号 10270-79993391

口座名義 社団法人 神奈川県理学療法士会

- 3) 認定書発行：「症例発表」の認定書を返送します。
- 4) 単位の認定：神奈川県理学療法士会より、日本理学療法士協会へ『C-6 症例発表』3単位取得会員として連絡しますので、各自マイページで履修単位の確認をしてください。なお、認定された単位がマイページに反映されるまで、少し日数がかかることを予めご承知おきください。

5) 申請・連絡先：

生涯学習部 新人教育係
〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9
横浜市立大学附属病院 リハビリテーション科 外来
担当：島津 尚子・小林 寿絵

*「新人教育プログラム症例発表申請書同封」と表面に朱書きしてください。

TEL：045-787-2853（科直通）

メール syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp

**いつでも前向きに
生きていたいあなたへ。**

「がん」「心疾患」をはじめとする生活習慣病や、交通事故によるケガが心配な現代では、万が一のための備えがあれば安心です。いつでも前向きな気持ちで過ごすために、一生涯の医療保障を準備しませんか？

▼新登場！

**生きるための
がん保険 Days**

**もっと頼れる医療保険
新EVER**

エヴァー

詳しくは、「パンフレット(契約概要)」・「ご契約のしおり抜粋」・「ご契約のしおり・約款」をご確認ください。



■募集代理店
国際保険株式会社

〒151-0051
渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F
TEL：0120-5931-98
FAX：0120-5544-23

■引受保険会社
Affac アフラック 首都圏総合支社
(アメリカンファミリー生命保険会社)
〒160-0023 新宿区西新宿1-23-7新宿ファースト17F
TEL：03-3344-1580 FAX：03-3344-2028
AFC69-2010-0059 3月17日



あなたのニーズをかたちにします
義肢・装具・車いす・座位保持装置etc

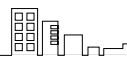
(有)木村義肢工作研究所

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号

TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560



活動報告



平成24年度新人オリエンテーションを終えて

介護老人保健施設つくしの里 総務部長 木下 尚久

去る4月22日（日）、神奈川県総合医療会館にて、平成24年度新人オリエンテーションが行われました。当日は、会場の定員350名を上回る360名もの参加者が有り大盛会でした。想定外の参加者数のため座席が足りなくなるというハプニングもありましたが、ロビーに設置してあった椅子を運び込んで、何とか参加者全員が座席に着くことが出来ました。

秋田 裕会長の挨拶に続き、運動連鎖研究所の山本尚司先生による講演会が行われました。テーマは「初学者の為の運動連鎖の学び方」。時に実技指導までも交えた熱の籠ったご講演は、新人ならずとも非常に興味深い内容でした。講演会終了後もフロアで山本先生を捕まえて質問する姿が見られ

ました。休憩をはさんで、生涯学習部長の内田賢一先生による生涯学習新人教育プログラムについての説明がありました。平成24年度より終了要件が変更される新人教育プログラムさらに認定・専門理学療法士へと続く長い道のりを、皆さん真剣な表情で聴き入っていました。新入会員の皆様には、日々の忙しい臨床や研究に没頭しつつも、まずは新人教育プログラムの終了を目指してほしいと思います。

最後になりましたが、深遠なるご講演をいただいた山本尚司先生、貴重な休日にも関わらず新人オリエンテーション運営にご協力くださったスタッフの皆様にご感謝御礼申し上げます。ありがとうございました。



月	日	内容	場所
4月	17日(火)	第49回学会準備委員会	事務所
		補正予算案打ち合わせ	事務所
	21(土)	第1回理事会	事務所
	22日(日)	新人オリエンテーション	県総合医療会館
5月	8日(火)	第1回常任委員会	事務所
	9日(木)	第49回学会準備委員会三役会	事務所
	13日(金)	期末監査	事務所
	15日(土)	第2回理事会	事務所
	25-27日(木)	第47回理学療法学会大会視察	神戸
	28日(火)	広報部取材	事務所

活動報告

関東障害者陸上競技大会を観戦して

横浜総合病院 リハビリテーション科 金田 藍香

昨年の秋、スポーツ支援・健康増進部の活動で、ロンドンパラリンピックに繋がる公式大会「関東障害者陸上競技大会」の応援に参加しました。これまで、肢体切断の方とは病院でしか接した事がなかった私にとって、彼等がトラックを駆け抜ける姿は衝撃的でした。競技を観戦する事で、臨床の取り組み方と感謝する大切さを改めて学びましたので、この場をかりて感想を述べさせていただきます。

今回、私達は鉄道弘済会の義肢装具士臼井さんが代表を務める切断者チーム“ヘルス・エンジェルズ”の応援をさせて頂きました。中でも私は、右大腿義足の少女の活躍に感動しました。彼女は幼少時に下肢切断し、以来、義足と訓練が嫌いだったそうです。しかし、競技に臨む仲間の姿を見て、次第に装具を着用し練習に参加するようになりました。そして本日初めて大会で100mを走り切りました。さらに驚いた事に、走り高跳びにおいては日本新記録を更新する大跳躍を見せたのです。その時のチームメイトの喜びは自分の事の様で、その笑顔が眩しかったのを今でも覚えています。

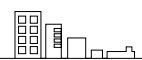
臨床で切断の方を担当させて頂いた事があります。断端管理と義足製作を終え、歩いて自宅へ帰られた時私はゴールだと思いました。しかし、それは知識不足であった自分が決め付けたゴールに過ぎなかったと、今では深く反省していま

す。義足であっても、こんなに速く走れて高く跳ぶ事が出来るのですから。病院で完結するのではなく、その人が生活する外での活動を見据えて臨床を行わなくてはならないと深く学びました。

一方、現状として全ての人が競技を行える訳ではないと伺いました。背景として、義足の価格が高い事、試す環境が限られている事、モジュール化された専門部品が少ない等の問題があるそうです。また以前に、理学療法分野でも、競技クラス分けや障害者スポーツ指導等の活動は未だ広くないと聞いた事があります。本大会で応援した方の笑顔が眩しく見えたのも、こうした問題や様々な過去を乗り越えてきたからこそ輝かしく見えたのかも知れません。

最後に余談になりますが、障害者スポーツに限らず、夢は自分一人の努力だけでなく、多くの人々の支えがあって叶うのだと思います。だから周囲へ感謝する事が大切なのだと私は思います。自分も家族や友人に支えられて今があります。特に職場では、尊敬する先輩と心ある仲間恵まれ、多くを学ばせて頂きました。皆様への感謝の気持ちは今後も忘れません、本当に有難うございました。この気持ちを大切に日々業務に励んでいきたいと思っています。





家族介護に関するアンケート調査報告 第3報

会員ライフサポート部 清川 恵子

会員ライフサポート部 活動報告 第34報

今回の第3報では「現在、介護をしていない」と答えた方の中から「将来の介護不安」について年代別にお届けいたします。また、「知りたい情報・ご意見」として自由記載欄にご記入して下さった方の中から、抜粋したものをいくつかご紹介したいと思います。

さらに、先日、神戸にて開催されました「第47回日本理学療法士学会」でのポスター発表の様子をほんの少し載せましたので、併せてご覧ください。

有効回答者数945名、回収率27.4%

現在、介護中ではない人902名 / 945名 (95.4%)

将来の介護の可能性:「ある」542名 (60.0%)、「ない」46名 (5.1%)、

「どちらともいえない」313名 (34.7%)

将来の介護不安:「ある」497名 (88.8%)、「ない」63名 (11.2%)

◆全体

将来の介護不安の内容は、複数回答で就業継続が333名 (67.0%)、経済面が327名 (65.8%)、親族との関係性が145名 (29.2%)、その他が56名 (11.3%) でした。その他の内容としては「体力面」「精神面」が多く挙がっていました。理学療法士としての知識や経験があっても、性別、年齢に関係なく「不安」との回答者が圧倒的に多いことがわかりました。

◆将来の介護不安

[20歳代]

- ・男性A：在宅が困難なレベルになったときすぐに施設に入れるか。
- ・男性B：親が障害をかかえ自分の心境が保つことができるかどうか不安。
- ・女性C：介護休暇などの制度を取得できる職場環境にあるか。
- ・女性D：子育てと同様に介護も仕事しながら可能かまた仕事を辞めてしまうと経済的な負担が心配です。介護でも仕事の保障などは可能でしょうか。また介護保険などについてなど相談できる窓口が病院内などにあるといいと思います。
- ・男性E：職場をかえる必要ができた場合、希望する職場に移れるか。

[30歳代]

- ・男性F：兄弟や妻の協力が得られるか不安になります。
- ・女性G：自分の人生がどうなっていくか。
- ・男性H：自分以外の家族負担、同時に自分の親、配偶者の親が介護の必要性が生じる場合。
- ・男性I：自分の親なのでできるだけ自分たちで面倒を見られればよいが、子育てと介護が重なると経済的・身体的な負担が大きくなるのではないかと不安。家の間取り的に同居もできないし、施設に入所させる経済的余裕もない。
- ・女性J：父母と距離が離れて生活していること。私自身兄弟がないため主介護者になるであろう近い将来のこと。
- ・男性K：漠然とした不安。家族の役割分担が上手くいくか。

[40歳代]

- ・男性L：いつから介護が必要となるのかの時期が分からないことに不安があります。
- ・女性M：親族は皆遠方で介護することはむしろ積極的に捉えています。介護するほうもされるほうもそれぞれ大きく変える必要があると思う。

[50歳代]

回答者なし

[60歳代以上]

- ・男性N：介護者の体力

◆知りたい情報・ご意見

[介護中ではない人]

- ・今は育児休暇中で育児との両立に不安は色々ありますが、介護についても将来起こりうることで、介護と仕事の両立をなさっているPTさんの現状などぜひ知りたいと思っています。(30歳代 女性)

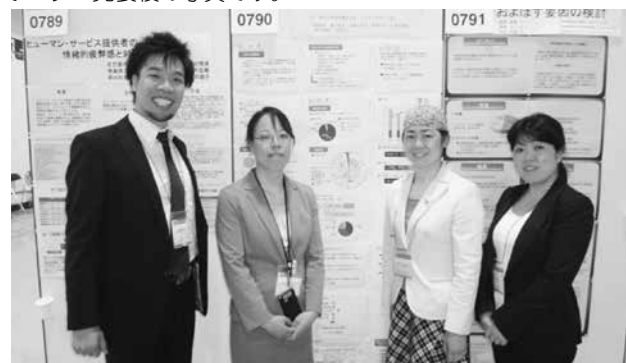
- ・経済的な負担軽減のために利用できる補助や公的支援の有無などどのような援助が受けられるか知りたい。介護休暇などどの程度利用されているか。(30歳代 女性)
- ・現在の環境では介護の休みは取りづらいと思われ。産休と同じく周囲への認知は今後必要ではないでしょうか。(30歳代 女性)
- ・今後の介護保険の動向が知りたいです。(保険料増加、制度の変化があるためタイムリーに情報がないと自分自身も理解できにくく、いざ使いたいと思って使えないことが予想されるため)(30歳代 男性)
- ・経済的負担が一番気になります。平均的どのくらい月、年単位でかかるのか知りたい。(30歳代 男性)
- ・もし介護が必要になったら今までどおりに働けず非常勤で働いたりしなければならぬかなという可能性があると思う。勉強会など1回ずつの費用が高くて介護・子育て中の方は躊躇すると思います。また、年会費も高いので負担になりそうです。(20歳代 女性)
- ・本年3月まで両親を介護。本アンケートはもっと早く実施してほしいかと思えます。(50歳代 男性)
- ・今回のアンケートは遅かれ早かれ誰もが通る道です。実態からは是非協会として情報(雇用など)支援をお願いします。(60歳以上 女性)
- ・介護が必要になり地元に戻ることになったときの就職先の紹介窓口はあるのか?(30歳代 男性)
- ・仕事を続けながら育児・介護ができる環境づくりのある施設の情報。(20歳代 女性)

[介護中の人]

- ・仕事と介護の両立をほかの方はどのように行っているのかわりたいです。(40歳代女性・総合病院勤務、介護3・親・毎日身体介護)
- ・地域の介護支援(訪問、ディサービス等)の内容一覧があるとよい、どのレベルから使えるのか(サービス内容など地域の一覧表)(40歳代男性・教育機関勤務、支援2・親・毎日家事援助)
- ・施設の種類と金額(月払いの金額、入居費用)(30歳代男性・総合病院勤務、介護保険取得なし・親・月に1回以上家事援助)
- ・自身が職場につながっているのに、愚痴をこぼせる場所があるので何とか家で見ているかなという印象です。(50歳代女性・小児療育等施設勤務、介護2・親・毎日身体介護)

◆学会の様子

ポスター発表後の写真です。



左端に写っている男性は、同じセッションだった福島県士会の理事です。

この度、当部の活動にとっても興味を持ってくださり、熱心に質問をしてくださいました。

この様子は、第4報にてお伝えする予定です。

研修会・講習会

平成24年度 神奈川県理学療法士会 第1回講習会のお知らせ

テーマ 物理療法と運動療法の複合効果を活用することの意義

内容 理学療法（士）は、1965年のPT・OT法の制定に始まり、47年の歴史を背負い、今日に至った。草創期は、運動療法・物理療法・義肢装具療法・日常生活活動指導などを駆使し、多種多様な疾患に対応出来得るジェネラリストの理学療法士の役割により社会貢献してきた。近年、臓器別、疾患別の診療報酬形態に変化し、専門性のニーズが高まり、専門理学療法士・認定理学療法士を医療広告化するための対策がなされてきた。その専門性には、診療報酬請求の側面からの分類では、心大血管疾患、脳血管疾患等、運動器、呼吸器、がん患者等に対する理学療法治療体系が含まれる。各臓器、疾患に対する理学療法体系を極めるうえでは、各疾患の病態の把握と目標に適合する治療介入が不可欠である。治療介入手法は、先人が積み上げてきた経験則と科学的な根拠に基づき発展すべきものであり、運動療法・物理療法・義肢装具療法・日常生活活動指導などの利点を活用して複合化することは不可欠であろう。一方、理学療法現場あるいは卒後教育では、物理療法は、運動療法に比べ学術大会の講演演題発表、研修会および講習会での講演、実技講習会開催等の頻度の減少傾向で、理学療法治療体系での運動療法への重点化が顕著となり、物理療法のいわゆる過疎化が加速している。物理療法と運動療法の複合的な治療体系化、物理療法における専門性の追求を図り、追い求めた総合的な理学療法臨床力に基づき専門性向上及びジェネラリストの育成につながるのではないかと考えている。時代の流れに迎合しない良識（頑固さと新技術の導入）、良き物理療法治療体系の伝承：継承、積極的な物理療法新

技術の開発、運動療法・物理療法の複合による本質に迫る治療体系化（治療効果と経験則の裏付け）が最重要課題である。

本講習会では、物理療法と運動療法の複合効果を活用することの意義について、経験則・根拠に基づき述べることにし、活用する上でのポイントについても言及する。

- 日時** 平成24年**9月30日**（日）
10：00～12：00（受付開始9：30～）
- 会場** 昭和大学藤が丘病院C棟講堂
- 講師** 川村博文先生（甲南女子大学看護リハビリテーション学部 理学療法学科 教授）
- 受講料** 2,000円
- 申込方法** 参加登録はオンライン登録をお願いします。
- 申込受付期間** 平成24年7月30日（月）～平成24年9月22日（金）
- 定員** 120名。定員になり次第締め切ります。
- 対象** 原則として（社）神奈川県理学療法士会会員、および（社）日本理学療法士協会会員とします。会員以外の方の参加は不可とします。
- 単位認定** 履修ポイントは現在詳細を検討中なので、判明次第、県士会ホームページにアップしていきますので、最新情報をホームページで確認してください。
- 問合せ先** 湘南泉病院 リハビリテーション科 川上恵治
TEL 045-812-2288（内線564）
kawakeiji@yahoo.co.jp

平成24年度リーダー研修会

テーマ 理学療法研究における統計結果の解釈（基礎編）
～臨床・研究に生かせるデータ解析学～

内容 基本的な統計学の知識から、研究論文の統計解析の解釈方法など、これから研究のための統計解析を勉強したいと考えている人必見の研修会です。統計なんてやったことがない、臨床では関係ないと思っている人も、是非この機会に勉強して、これからの臨床、研究活動をより豊かなものにしていきましょう。

日時 平成24年**10月21日**（日）
10：00～15：00（受付開始9：30～）

会場 横浜市立大学医学部へボンホール
（シーサイドライン「市大医学部」駅 徒歩1分）

講師 対馬栄輝先生（弘前大学大学院保健学研究科）

受講料 無料

参加資格 県士会・協会員

単位認定 履修ポイントは現在詳細を検討中なので、判明次第、県士会ホームページにアップしていきますので、最新情報をホームページで確認してください。

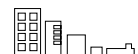
申込方法 参加登録はオンライン登録をお願いします。神奈川県理学療法士ウェブサイトの[講習会・研修会情報]から登録してください。

申込受付開始 平成24年7月20日（金）14時

申込締切 平成24年10月13日（金）

定員 表示定員数 250名（先着順）

問合せ先 聖マリアンナ医科大学病院
リハビリテーション部 寺尾詩子
お問い合わせはメールをお願いします。
mail：mari-utako@marianna-u.ac.jp



臨床実習教育部主催 研修会のご案内

<p>テーマ 「ケーススタディ 実習指導」</p> <p>内容 今回の研修会では、臨床実習指導を実際におこなわれている先生方に講師をお願いし、それぞれの施設で展開されている臨床実習指導についてご紹介いただきます。 各先生方から、整形外科疾患、脳血管障害疾患（急性期・回復期）の症例を提示していただき、実習指導をすすめる際の準備や学生指導のポイントなど、実際の指導内容をお話していただく予定です。 本研修会はワークショップ形式をとり、教育現場・臨床現場の両方の立場から多くの意見を交換できる場としたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。</p> <p>日時 平成24年9月9日（日） 13：00～16：00（受付開始12：30～）</p> <p>会場 町田市文化交流センター（プラザ町田ビル：5階） （JR横浜線「町田駅」町田ターミナル口直結 小田急線「町田駅」西口から徒歩5分）</p> <p>講師 3名（調整中）</p>	<p>講師は現在調整中です。7月上旬にはHP上に掲載する予定です。</p> <p>受講料 無料</p> <p>申込方法 参加登録はオンライン登録といたします。 神奈川県理学療法士会ウェブサイト（http://www.pt-kanagawa.or.jp）[講習会・研修会情報]より、「平成24年度 臨床実習教育部主催研修会」にお進みの上、指示に従って登録して下さい。 *応募多数の場合は、60名程度に達した時点で締め切らせていただきます。 *本研修会は、社団法人日本理学療法士協会の履修ポイント基準・大項目「2. 講習会・研修会の受講」の「5）都道府県士会主催の講習会・研修会」に基づき、履修ポイント（10ポイント）が取得できます。</p> <p>申込受付期間 平成24年7月9日（月）～平成24年8月31日（金）</p> <p>問合せ先 E-mail: rinsho-jissshu@pt-kanagawa.or.jp 臨床実習教育部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）</p>
---	--

第47回日本脊髄障害医学会

<p>日時：平成24年10月25日（木）～26日（金） 平成24年10月27日（土）</p> <p>会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」</p> <p>目的：脊髄障害・脊髄疾患の治療・研究に向けて、多数の臨床科や多方面から参加の先生方の研究や臨床活動を学ぶ事を目的とする。</p>	<p>参加費：医師 10,000円、コメディカル 3,000円 特別企画コメディカルカンファレンス " 脊髄障害患者に対する看護とリハビリテーション "</p>
---	--

若手療法士のためのシーティング入門 ～座位の運動学と評価方法～

<p>日時：2012年7月28日（土）10時～16時30分</p> <p>会場：ぼっぼ町田 会議室</p> <p>内容：木之瀬 隆 先生を講師にお迎えしてのシーティング入門セミナー。豊富な臨床経験や研究データをもとに、座位の運動学と評価方法を中心に、臨床的なケーススタディを織り交ぜながらの、シーティング入門に相応しい充実の内容。</p>	<p>講師：木之瀬 隆 先生</p> <p>受講・定員：2012年6月28日まで10,000円（以降は12,000円）100名</p> <p>申し込み先：療法士.comにて受付 担当者：山田 http://ryouhou.com/modules/column/ryouhou.com-planning/seminar-2st.html</p>
--	--

研修会・講習会

動作分析から展開する理学療法の考え方

日時：2012年8月5日（日）10時～16時30分
会場：町田市文化交流センター ホール
内容：園部 俊晴 先生を講師にお迎えしての動作分析から展開する理学療法の考え方のセミナー。動作からメカニカルストレスの捉え方、歩行時の運動連鎖、姿勢と動作の関連生、各疾患の理学療法を中心に講義いただきます。

講師：園部 俊晴 先生
受講・定員：2012年7月5日まで10,000円（以降は12,000円）
 100名

第3回 神奈川県リハビリテーションソーシャルワーク研究会 —多職種者研修会—

日時：2012年7月28日（土）13：45～18：00
 （受付13：00）
会場：神奈川県民ホール 6F 大会議室
 （定員になり次第、締め切らせて頂きます）

内容・講師：

- (1) 記念講演：【映像で見る嚥下障害】～チームみんなで患者さんの「食べる」を応援しよう！嚥下障害治療のレベルアップに！！～
 講師：足立徹也氏 聖テレジア病院 副院長 リハビリテーション専門医
- (2) 多職種者によるシンポジウム：【在宅生活を想像～image～するということ】～地域から学ぶ！「質の高い退院支援」とは～
 message：「患者さんの在宅生活を想像～image～する、それが、患者さんの生活を創造～create～することに繋がる手掛かりにならないだろうか・・・？いちはみんな考えてみたい」

シンポジスト：
 露木昭彰氏 PT: (有) 足柄リハビリテーションサービス代表取締役
 野々垣睦美氏 OT: 活動支援自立支援事業・高次脳機能障害通所 ステップ・ナナ所長
 松木満里子氏 Nrs: アコモ・ケア・サービス 代表取締役
 井上健朗氏 MSW: 昭和大学 総合相談センター 係長

対象：チーム医療の従事者
 ・理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士・看護師・介護士・医療ソーシャルワーカー その他

受講・定員：2,000円・200名

申し込み先：出欠票をFAXにて送信

問い合わせ：聖テレジア病院 医療ソーシャルワーカー 半沢
 0467-32-4125 fax0467-32-7280
 済生会神奈川県病院 医療ソーシャルワーカー 鎌村
 045-432-1111

高次脳機能とリハビリテーション 【療法士.com 主催セミナー（リハ学生10名無料招待対象セミナー）】

日時：2012年9月2日（日）10時～16時30分
会場：横浜市社会福祉センター ホール（4F）
内容：高次脳機能障害を持つ例ばかりでなく、どのような人であっても動作・活動の学習を推進するためには高次脳機能の知識はとて有用な武器となります。本セミナーでは、記憶・認知・注意・運動学習などをキーワードにしてリハビリテーションにおける動作・活動学習に有用な基礎知識を解説します。

講師：高倉 保幸 先生

受講・定員：2012年8月2日まで10,000円（以降は12,000円）
 120名

申し込み先：療法士.comにて受付 担当者：山田
 info(@)ryouhousi.com
 042-350-8885
<http://ryouhousi.com/modules/column/ryouhousi.com-planning/seminar-2st.html>

中枢神経疾患のリハビリテーションと脳機能解剖学 【療法士.com 主催セミナー（リハ学生10名無料招待対象セミナー）】

日時：2012年9月8日（土）10時～16時30分
会場：横浜市社会福祉センター ホール（4F）
内容：脳卒中や頭部外傷は脳のシステム障害を起こすことによって、さまざまな病態を表します。より良いリハビリテーションを進めていく上で、表れた現象からの判断だけではなく、脳の状況をよく理解しながら患者の持つ可能性を十分に引き出さなければなりません。そのためにも脳の機能解剖学に基づくシステムを理解することは中枢神経障害のリハビリテーションに必須事項です。

講師：吉尾 雅春 先生
受講・定員：2012年8月8日まで10,000円（以降は12,000円）
 120名

申し込み先：療法士.comにて受付 担当者：山田
 info(@)ryouhousi.com
 042-350-8885
<http://ryouhousi.com/modules/column/ryouhousi.com-planning/seminar-2st.html>



肩と肘のリハビリテーション ～若手療法士のための肩・肘関節の評価法を中心に～ 【療法士.com 主催セミナー (リハ学生 10名無料招待対象セミナー)】

<p>日 時：2012年9月22日(土・祝) 10時～16時30分</p> <p>会 場：ぽっぽ町田会議室</p> <p>内 容：臨床場面で苦手意識が強い肩関節と肘関節(肩関節メイン)を機能解剖学から立ち返り、評価方法(時間によっては簡単な治療や随時先生のデモを織り交ぜながら)を、交えながら講義いただきます。</p> <p>講 師：久保田 正一 先生</p>	<p>受講・定員：2012年8月22日まで10,000円(以降は12,000円) 70～100名</p> <p>申し込み先：療法士.comにて受付 担当者：山田 info(@)ryouhousi.com 042-350-8885 http://ryouhousi.com/modules/column/ryouhousi.com-planning/seminar-2st.html</p>
--	--

療法士のための信念対立説明アプローチ ～個人と組織を活性化するための技法～ 【療法士.com 主催セミナー (リハ学生 10名無料招待対象セミナー)】

<p>日 時：2012年9月30日(日) 10時～16時30分</p> <p>会 場：横浜市社会福祉センターホール</p> <p>内 容：いろいろな人たちが交錯する臨床現場では、気持ちのすれちがいによって関係性がどんどん悪化していくことがあります。一人ひとりの療法士だけでなく、チームアプローチ全体のパフォーマンスが低下していくことも少なくありません。今回は、ワークショップもとりいれ、参加者に変化のきっかけをつかんでいただけたらと考えています。</p>	<p>講 師：京極 真 先生</p> <p>受講・定員：2012年8月30日まで10,000円(以降は12,000円) 100名</p> <p>申し込み先：療法士.comにて受付 担当者：山田 info(@)ryouhousi.com 042-350-8885 http://ryouhousi.com/modules/column/ryouhousi.com-planning/seminar-2st.html</p>
--	---

IPNFA (国際 PNF 協会) 認定基礎コース

<p>日 時：2012年10月23日～27日 レベル1 2012年10月29日～11月2日 レベル2</p> <p>会 場：専門学校白寿医療学院 静岡県伊豆の国市南江間1949</p> <p>内 容：PNFは学問/科学を背景に発展してきており人の体をどのように促通し動きやすくするのかを包括的に体系化しており、ヨーロッパ、韓国では政府認定の治療コンセプトで、世界各国のセラピストが臨床応用しています。また、現代の運動制御理論である動的システム論・課題指向型アプローチに沿っており、運動性(痛みも含む)/安定性/制御された運動性の問題点を解決し活動レベルを改善する方法論を学び、ICFに基づいてクリニカルリーディングしていきます。患者デモ、二人一組で実際の患者様の協力により評価治療を指導のもと行うことですぐに臨床に役立ち、PNFを全く知らない方でも学習可能な内容です。</p>	<p>PNFは中枢疾患はもちろん整形疾患、老人、スポーツ選手まで幅広く用いられています。 *国際PNF協会により規定されている内容です</p> <p>講 師：Matthias Schulte ドイツPT IPNFA認定インストラクター 勝浪省三 中川徳生会 PT IPNFA認定インストラクター</p> <p>受講・定員：12万円(レベル1,2を含む) 28名予定</p> <p>対 象：PT/OT/医師</p> <p>そ の 他：※宿泊-学院の寮が使用可能/宿泊費1日1000円 ※食事-学院のレストラン利用可能 ※基礎コースはレベル1,2参加で完結です。</p> <p>申し込み先：a-shot-sho@yc4.so-net.ne.jp 勝浪省三まで氏名、所属、職種をメールでお願い致します。</p>
---	---

やさしさと、医療を科学する...

MINATO

NEW

いつでも、どこへでも。

あらゆる場面で活躍する(コードレス型)レーザー治療器。

高い疼痛緩和効果を発揮する LLLT(低出力レーザー治療)

LLL(Low Level Laser Therapy)低出力レーザー治療には、神経伝達の抑制、血流の改善、抗炎症などの作用があります。治療中の痛みがなく、低強度で、高い疼痛緩和効果を発揮する治療法として注目されています。

2011年度グッドデザイン賞受賞

半導体レーザー治療器 ソフトレーザー

SOFTLASERY

JQ-W1

GOOD DESIGN

踏運動負荷モニタリングシステム

MOBILE AEROMONITOR AIE-100i

モバイルエアロモニター-100i

高精度+携帯性

1 心臓/呼吸リハビリテーション 正確な運動負荷量が処方できます

2 スポーツ 酸素摂取量を現場で測定できます

3 栄養管理/療養病管理 適正な投与エネルギーが決められます

ミナト医科学株式会社
URL <http://www.minato-med.co.jp/>

登録番号：22300B2300158000
高度管理医療機器 特定保守管理医療機器

横浜営業所 TEL 045(560)3710 〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉7丁目13番1号 FAX 045(563)3714

information

日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料 (500円) となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

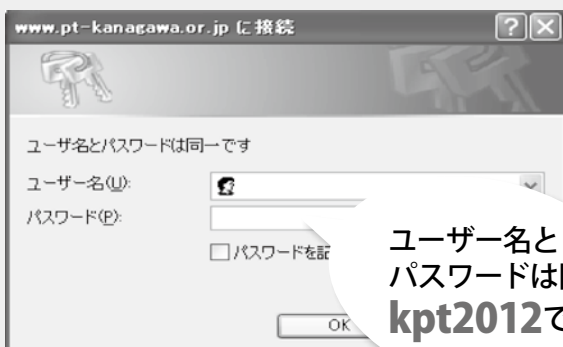
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 山口 泰成

アクセス認証のパスワードが変更になります！



2012年7月15日からパスワードが変更します

(8月15日までは旧パスワード kpt2011 でも閲覧可能)

本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部



神奈川県理学療法士会 メールマガジン登録をお願いします

本会HPに掲載される、講習会、求人、会員向け最新情報を定期的にメルマガにて配信しております。

ぜひ、下記より登録してください。

◆メールマガジン配信の登録はこちらから
https://www.pt-kanagawa.or.jp/reg_mg.html



(年度末に送信エラーのメールアドレスは、本会で削除させていただきます)

ウェブサイト管理部 担当理事 福島 努

第30回神奈川県理学療法士学会開催にむけて

来る、2013年3月3日、第30回神奈川県理学療法士学会を、横浜市南部地区(中、南、磯子、港南、金沢、栄)の医療機関および介護保険事業所等に所属する300余名の会員が担当し、横浜みなとみらいのパシフィコ横浜で開催することに決まりました。

第30回の節目を迎える今学会は、神奈川県士会が公益法人へ衣替えする記念すべき時と重なり、これまで以上に県民の皆様へ「理学療法士の存在と役割、そして学会成果を発信する機会」ととらえ準備を進めています。県民講演会のほか、理学療法相談や機器展示、震災復興支援企画など、会員の皆様はもとより、職場のご利用者様や他職種の皆様、ご家族様をはじめとした地域住民の皆様へ広くお声かけできる企画を検討しています。今回、収容人数、利便性、認知度等で優れたパシフィコ横浜での開催でもあり、多くの皆様に参加していただきやすい環境を整えることが出来たと考えます。

今学会のテーマは、『社会につなげる理学療法士のキャリアデザイン』です。

本学会が会員一人ひとりにとって「専門性の向上と社会につながる行動を意識したキャリアデザイン」を描く契機となり、明日からの臨床・教育・研究を通じて「質の高い理学療法を提供・発信していく自信と活力」となることを願う思いをこめ、県民講演会とセミナーを企画しています。

県民講演会では、東海大学文学部心理・社会学科・大学院文学研究科教授の宮森孝史先生にご講演頂きます。先生は、日本のリハビリテーション分野で心理職のパイオニアとして活躍されています。ご専門の神経心理学に関わるお話とともに、先生のキャリアデザインは是非拝聴して頂ければ、聴衆の皆さんへ自信と活力が伝わる貴重な機会となるでしょう。

セミナーでは「神奈川の匠が語るキャリアデザイン」と銘打ち、運動器障害、脳血管障害、内部障害、地域リハの各分野で実績を持つ県内の理学療法士を講師としてお招きし、各氏が現在に至るまで取り組まれてきたキャリアデザインと、臨床への活用、さらに社会との交流等について教示頂く予定です。更に、日本理学療法士協会が描くキャリアデザインについても役員を講師にお招きし、詳述して頂く予定です。

震災復興支援企画としては、3.11の震災で被災されました皆様と、原発事故による避難生活を強いられている皆様の一日も早い復興を願い、復興支援企画を準備しています。さらに、震災で得た数々の教訓を理学療法士の視点で紹介する企画も準備しています。

一般演題は、口述発表およびポスター発表形式で100演題を予定します。会員間の活発な討論と交流の機会となるよう準備を進めています。このうち、小児療育分野は、急性期・回復期・在宅の各療育間の連携に焦点を当てた指定演題を企画します。

参加していただく会員の皆様の明日への自信と活力となる学会にしていきたいと考え、スタッフ一同、準備に励んでいます。皆様の学会参加、積極的な演題応募、心からお待ちしております。

【第30回神奈川県理学療法士学会概要】

期 日：平成25年3月3日(日)

会 場：パシフィコ横浜

テーマ：社会につなげる理学療法士のキャリアデザイン

明日への自信と活力のために

学会長：横浜市脳血管医療センター 今吉 晃

演題募集期間：平成24年7月16日～9月15日

*今学会では演題と抄録の同時登録となります。ご注意ください。

参加費：会員 ¥2000 非会員 ¥3000 学生・一般 無料

なお、本学会の最新情報は、県士会ニュースの他に、ホームページを開設しています。近日中に士会HPとリンク予定です。是非、ご活用下さい。

第30回神奈川県理学療法士学会ホームページ：

<http://30kpt.web.fc2.com/>



第30回神奈川県理学療法士学会会長
 横浜市脳血管医療センター リハビリテーション部 今吉 晃

2011年度

第7回 理事会報告

日 時：2012年2月11日（土） 15:30～18:30

場 所：神奈川県理学療法士会事務所

理事定数：15名

出席理事 ● 秋田 裕 / 隆島研吾 / 炭 孝昭 / 林 克郎 / 山口泰成 / 菅原憲一 / 広瀬好郎 / 福島 務 / 惣田 洋 / 佐藤史子 / 太附広明

欠席理事 ● 大槻かおる / 湯田健二 / 清水 忍 / 露木昭彰

出席監事 ● 井上 保 / 安藤徳彦

欠席監事 ● 君嶋武司

第29回神奈川県理学療法士学会 前田大助 / 準備委員長 酒井勇紀

出席事務局員 ● 石川久子

■ 議事内容

I. 会長挨拶・会長行動報告（報告）

II. 役員選挙欠員推薦について（承認）

- 次年度理事および監事の立候補者名簿が確認された。いずれも立候補者が定数に満たなかったため、理事会推薦人員について、理事には山口泰成氏（森の里病院）、坪内敬典氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）、小山理恵子氏（聖テレジア病院）が、監事には君嶋武司氏、安藤徳彦氏が候補に挙がり承認された。

III. 来年度会議等日程について（討議）

- 秋田会長より下記のように提案があった。
理事会：毎月第3火曜日19-21時
（4月・12月は第3土曜日15-18時）
常任理事会：隔月（奇数月）第2火曜日19-21時
監査会：5月13日（期末監査）・10月21日（中間監査）
⇒日曜日9-11時
新人オリエンテーション：4月22日
相談役会：6月総会開催日に開催
賛助会員懇談会：3月学会開催日に開催

IV. 学会・総会準備状況について（報告）

- 前田学会長より第29回神奈川県理学療法士学会進捗状況について報告があった。
- 日本理学療法士協会よりあった包括会員管理システム導入による、学会受付システムの運用シミュレーションを第29回神奈川県理学療法士学会で行なわせて欲しいとの依頼については受付会場が狭く危険が伴う可能性があるため、見送ることとなり、担当の湯田理事より日本理学療法士協会へ断ることとなった。
- 13：30よりB307教室で通常総会打合せが開催されることが報告された。
- 執行部推薦議長団として下記が選任された。
議 長：長田正章氏（川崎幸病院中原分院）
副 議 長：平野勝久氏（宮川病院）
書 記：富永潮也氏（太田総合病院）
小野塚真也氏（総合川崎臨港病院）
議事録署名人：手塚純一氏（川崎幸病院）
吉津良和氏（川崎協同病院）

V. 全国都道府県士会長集会について（報告）

- 秋田会長より全国都道府県士会長集会の報告があった。
- 山口和之衆議院議員後援会神奈川県支部発足に向けての進捗状況が秋田会長よりあった。

VI. その他

VII. その他各局部・委員会報告（報告・承認）

1. 事務局

① 会員異動報告、入会者の承認（報告・承認）

- 前回理事会より入会11名が承認され、転入12名、転出6名、休会7名、復会0名、退会26名、県内異動44名があり、2月11日現在での会員数3420名であることが報告された。
- 賛助会員C会員に「星医療酸機」より入会希望があったが、会社概要が不明確であるため、会社概要を提出してもらい、次回理事会で再審議することとなった。承認の判断をするため、事前調査として会社情報入手することが確認された。

② 各種団体よりの依頼事項の件

- 神奈川県保険医協会より「第28回糖尿病セミナー」の後援およびチラシ普及の依頼があり承認された。
- かながわ福祉サービス振興会より「第5回神奈川県特定施設研究大会」の後援依頼があり承認された。
- 神奈川県介護支援専門員協会より「第10回神奈川県介護支援専門員研究大会」への後援および協賛依頼があり、後援のみ承認された。
- 全日本病院学会より「第54回全日本病院学会IN神奈川」の後援依頼および協賛依頼があり、後援のみ承認された。
- 神奈川リハビリテーション病院より「理学療法士卒後研修」の後援依頼があり承認された。
- 大磯町より「介護認定審査委員」の推薦依頼があり神内擴行氏（自宅会員）、矢田千世氏（自宅会員）を推薦することとなった。
- 平塚市より「障害者自立支援法における市町村審査会委員」の推薦依頼があり沼田浩吉氏（平塚共済病院）を推薦することとなった。
- 横浜市立本牧中学校より「進路楽習職業講話」への講師派遣依頼があり玉枝香澄氏（神奈川リハビリテーション病院）を推薦することとなった。
- 茅ヶ崎市社会福祉協議会より「障害者生活支援センター専門援助相談事業」実施に伴う講師派遣依頼があり、坪内敬典氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）を推薦することとなった。

③ 各部事業報告

- 山口事務局長より会計事務所の指導により収支予算を一部修正したことが報告された。
- 次年度より本会発送物の発送方法を日本理学療法士協会に合わせ、個人発送をする方向で検討していることが報告された。
- 2012年度役員登記について現在確認中であり、確認ができ次第準備に入ることが報告された。
- 公益社団法人移行時に新聞紙面で発表したいとの提案があった。

- ・神奈川県内で講習会開催時に使用できる会場について、整理することとなった。
- ・共催・協賛・後援等承諾規定（案）が提案され、これを基に検討していくこととなった。

a. ニュース編集部

- ・次年度の巻頭言についての報告があり、年度の初号と最終号は秋田会長にお願いしたいとの話があった。

b. ウェブサイト管理部

- ・部内での活動についての報告があった。

c. 広報部

- ・次年度の活動計画案が提案され、半年間活動した時点で今後の活動方向について検討する予定であると補足があり、承認された。

d. 総務部

- ・4月22日に開催される新人オリエンテーションについて下記のように報告があった。
日時：4月22日（日）13：00～17：00
会場：神奈川県総合医療会館
内容：生涯学習について（本会生涯学習部）
講演「運動連鎖について」（山本尚司先生）
- ・会場の定員数の関係で神奈川県士会入会者限定にする等今後検討することとなった。

2. 学術局

- ・神奈川県からの委託事業にあたる講習会が全て終了し、報告書を作成しているとの報告があった。
- ・関東甲信越ブロック検討委員会会議報告があった。

①各部事業報告

a. 生涯学習部

- ・1月22日に「症例検討発表会」が開催され、26演題の演題数があり、参加者が56人であった事が報告された。

b. 学術講習部

- ・11月20日(日)に昭和大学リハビリテーション病院講堂にて、リーダー研修会が開催され、テーマは「感染症対策」で参加者は33名であったことが報告された。
- ・1月22日に横浜市総合リハビリテーションセンターにて、第3回講習会が開催され、テーマは「運動連鎖」で参加者が111名であったが当日の無断キャンセル者が20数名いたことが報告された。
- ・無断キャンセル等を防ぐ手段として、講習会費の事前振込みを取り入れるなど講習会の事前申し込みについて福島理事を中心に3局で検討していくこととなった。
- ・2月19日（日）に第4回講習会が開催予定であることが報告された。
- ・2月2日(木)に部会議が開催されたとの報告があり、次回は3月8日（木）に部会議を開催予定との話があった。

c. 学術大会部

- ・第29回神奈川県理学療法士学会については議事（4）にて報告済み
- ・第30回神奈川県理学療法士学会について、開催候補日は3月3日（日）、会場については検討中であることが報告された。
- ・4名の部員追加があったことが報告された。

d. 学術誌編集部

- ・2月13日（月）に会報40号が納品予定であるとの話があった。

e. 臨床実習教育部

- ・2月5日（日）に北里大学にて、臨床実習部主催研修会が開催されたとの報告があった。

3. 社会局

- ・3月25日に神奈川県医療専門職連合会総会が中外製薬株式会社で開催されることが報告された。

- ・神奈川県医療専門職連合会学術講演のテーマが「2012年度診療報酬改定について～その特徴や流れ・今までとの違いについて～」になったとの報告があった。
- ・本会3月号ニュース発送に「連合会会報40号」が同封されるとの話があった。
- ・学会等発表マニュアル案が提案され、事務局で整理することとなった。
- ・商業誌論文執筆マニュアル案が提案され、執筆料の扱いなどについて意見交換がされ、執筆内容を理事会で報告したうえで執筆者が責任を持つこととされ、前記の事を踏まえ事務局で整理することとなった。
- ・神奈川県介護支援専門員協会主催「第10回神奈川県介護支援専門員研究大会」が開催されるとの報告があった。

①各部事業報告

a. 会員ライフサポート部

- ・平成24年度日本理学療法士学会にて「会員の介護に対する意識調査」の演題発表をされるとの報告があった。

b. 医療保険部

- ・部員1名が増員されたことが報告された。
- ・4月22日（日）に開催される講習会「テーマ：診療報酬改定」についての報告があった。
- ・診療報酬改定の情報を本会ホームページに掲載することとなった。

c. 介護保険部

- ・2月5日（日）に「訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」が開催されたとの報告があった。

d. 中途障害支援部

- ・2月4日（土）に自立支援施設に勤務する数名の会員を交え、「障害者自立支援法下で理学療法を提供する際に難渋する事とその解決策」をテーマに部会議が開催されたとの報告があった。

e. スポーツ支援・健康増進部

- ・1月21日（土）に関東甲信越メディカルサポート合同研修会が開催され、参加者は81名であったとの報告があった。
- ・今後の「関東甲信越メディカルサポート」について意見交換がされ、秋田会長に関東甲信越ブロック士会会議にて要望を提案して欲しいと依頼した旨が報告された。

4. その他の委員会

a. 組織強化委員会

- ・組織協会委員会よりアンケート実施結果の報告があった。
- ・組織強化委員会の活動報告をニュースに掲載することとなった。

b. 規約審議委員会

- ・規約等審議委員会については次年度の活動は休止とし、当面事務局にて規約等の整備を行うこととなった。
- ・規約等の提案については山口事務局、小林事務局員に連絡することとなった。

c. その他

- ・賛助会員を増やすための提案があり、事務局が中心になり検討していくこととなった。
- ・清水理事が出席した、「関東甲信越ブロック学会運営検討委員会」報告について隆島副会長より補足があった。

⑧議事録承認

- 2011年度第5回理事会議事録が承認された。
- 2011年度第6回理事会議事録が承認された。



「知識に基づいた根拠」

日々汗だくになりながら臨床の現場で働きだして3年目に突入しました。汗の量は少なくなっている様ですが、毎日ハンカチが手放せません。私は文章を書くことがとても苦手なので、今回は一つのテーマについてお話できればと思います。

「知識に基づいた根拠」

これは4年生の臨床実習の時に言われた一言で、評価や治療を根拠に基づいた上で患者さんに接しなければならない、という言葉頂きました。実際には先生方に助けてもらいながら患者さんが治療前後で変化している様子を間近で体験でき、知識や技術、洞察力の未熟さを感じ、同時に面白い仕事だと改めて思うほど良い実習生活を送れました。

話は変わりますが、私は高校生の時からやっているとあるスポーツに今でも休日は取り組んでいます。就職して1年目の時に大きな怪我をして手術もしました。周囲からはよく「患者さんの気持ちが変わって良い経験だ」なんて励ましてもらいました。実際に患者の立場になって思ったのは、痛くて動けないこと、スポーツ・運動ができないこと、手術をするのかどうか、手術をして治るのか、またスポーツに復帰できるのかという「不安な気持ち」を感じ・経験できたことはとても重要だと思いました。私は競技復帰を目標に手術を受けましたがとても不安で怖かったし、その頃にフィギュアスケートのD・T選手も同じ怪我から復帰をして試合に出ているのを見て「凄いなあ」なんて他人事のようにほやいていました。どんなリハビリをしたかを長々とと言ってもあれなので、結局私は8ヶ月後には公式戦に競技復帰することができました。

復帰までのリハビリで大切なことはたくさんあると思いますが、私が特に思ったことは「モチベーション」だと思いました。「今日はこのトレーニングをどこまでやる」と自分に目標を立てて一生懸命リハビリをしまし

た。やはり目標や目指す理想像がなければきつトレーニングを続けられるわけではないですし、私の場合は「試合にまた出て活躍すること」を目標にして、そのために身体の使い方から様々なことを身を持って体験し、「自分、よく頑張っているなあ」なんて思いながら順調に回復していきました。トレーニングは現在進行形で、日々新しいものを取り入れ学んでいます。同じように、リハビリをさせるのではなく、する立場の患者さんにもしっかりとした目標を設定してあげることで少しでも「不安」をなくしてあげたいし、手術をする人であれば一大決心をして身体にメスをいれて、まだ痛みがある時にリハビリが始まって、どこの誰か知らない他人に痛いところを動かされて・・・それでも文句を言わずに毎日毎日来てくださって、痛みがなくなれば自主トレーニングに励んでくれる。本当に良く頑張ってくれました、努力してくれましたと褒めてあげるべきだと思います。その中で私たちは、患者さんが回復していく時に誤った方向にいかない様に「先導者」として、人それぞれに合った導き方を考え、実施していかなければならないですし、正解なんてないんです。私はまだまだまだまだですけど、それを背負って、挑んでみたいです。そのためにも、最初に述べた「知識に基づいた根拠」がとても大切だと感じています。患者さんを治療する上でも接する時でも確かな自信があれば良い方向に導けると思います。

経験は大切な武器であり、勉強会に参加した先生方からお話や実技を受けると、「凄いなあ」と思っていますが、あくまでも、一つの手がかりであってそれは正解ではない、はず。いつか私も何か見つられるように頑張りたいです。そのために、今はたくさん患者さん診て勉強させてもらっています。何だってやっています。赤ん坊だって診ています。まずは、汗が少しでも引くためにも、3年目、頑張り時だと思います。

最後に、私の理想を

「DO YOUR BEST,
AND IT MUST BE FIRST CLASS」

～最善を尽くし一流たるべし～。

昭和大学藤が丘病院 須山陽介

解剖 こぼれ 話

ヒトの体の不思議 — 骨の数はいくつ? —

われわれ人体の骨格を構成する骨の数はいくつでしょうか。解剖学の骨格系の話の最初にでてくと思いますが、およそ200個、あるいは206個といわれています。これは成人における数で、子供のころはもっと多くの数になります。ご存じのように寛骨は腸骨・坐骨・恥骨が癒合して1つの寛骨になり、仙骨は5個の仙椎が癒合しているからです。

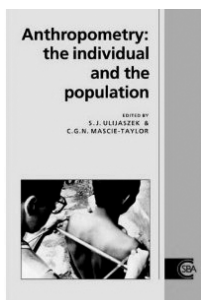
では、6個の差はどこにあるのでしょうか。これは耳小骨（ツチ骨、キヌタ骨、アブミ骨）を加えた数になります。耳小骨は人体で最も小さい骨で、形状分類では非定型的

長管状骨で、骨端線はなく、ツチ骨、キヌタ骨には髓腔があるようです。実際に耳小骨を見る機会はあまりないと思いますが、アブミ骨はまさに馬具の鐙に似ています。この3つの小骨は構造的には「骨」であり、関節でつながっています。解剖学用語では耳小骨は運動器（骨格系）ではなく、感覚器の項にあります。

耳小骨は「骨」として数えられますが、数えられない「骨」に種子骨があります。種子骨の代表は膝蓋骨ですが、足底にも小さな種子骨があり、「種子骨障害」を起こしますが、数には含まれません。

運動学的立場からすると、骨の数は200個でいいのではないのでしょうか。

昭和大学保健医療学部 解剖学 伊藤 純治
神奈川県立保健福祉大学 解剖学 柴田 昌和



著者 ▶ S.J. Ulijaszek, CGN.
Mascie-Taylor (ed)

TITLE ▶
**Anthropometry:
the individual and the
population.**

左右を比べて長い（大きい）のは右上肢と左下肢、そして左顔面。本当かな、と思うが、顔のホク口の位置

は非対称だし、頭のつむじは真ん中からずれて一方向に巻いているし、それに利き手もある。大脳半球の優位性などと高尚な？理論を持ち出さなくても、身体非対称性は不可避に思える。問題はそれがどの程度か、ということになる。成長の過程や在住地域、人種等の要因によって身体サイズはどのように変化するか。その身体サイズには何か意味があるのか、ないのか。特定の職業（ここでは軍隊）に就くために求められる身体サイズとは。これらの問いに答えるには身体を測らざるをえない。

この書籍は、身体形態計測の用いられ方と注意すべき点をその歴史とともにまとめてあるコンパクトな洋書である。1994年発行。およそ20年前の書物ながら、内容は今日の計測学の入門書として十分に基礎的で重要な記述で占められている。例えば複数回の計測で身長が2センチ異なるとしても、計測精度によっては誤差範囲になる。検者内信頼性・検者間信頼性、分散分析、信頼区

間、感度や特異度といった計測値を読むための基本が解説されている。これら統計的なセオリーについての教養を持ち合わせておくことが、計測するための準備として必須なのである。4月の健康診断で身長が1センチ伸びただの縮んだのと一喜一憂する学生にはぜひ読ませたい。

しかしそれにしても身体を計測するという作業には容易ならざる覚悟があると、改めて思う。それは統計学的な教養だけでなく、計測精度を確保するための努力や計測結果の解釈あるいは計測値の活用に至る計測者の意図を絶え間なくクリアに保って自覚しておくことの必要性があるからだ。測られる側の身にもなれば自明のことだ。年齢体重家庭環境と事細かに記録される嫌悪感を通り越すために求められるのは、「わたし」の身体が明らかになる事を通して「わたし」がどうなるのか、その説明である。例えばBMIが25を超えることに付随する死亡率の上昇があるとしても、それは「わたし」の人生にとって何を意味するのか。その数値を基に「わたし」はどのように生きればよいと言えるのか。それに答える覚悟が、計測者にはいる。

関節可動域や筋力、バランスを計測する意図とは何か。もし「自身の思考整理のためです」という理学療法士に、持ち合わせておくべき教養も覚悟も愛情もなかったとしたら、計測された人間は無残にも数値に分割されつばなしになる。測るという行為は、恐れ多いことである。この書籍のように、私たちが計測対象としていられる身体形態や機能について振り返って議論する公な機会はあるだろうか。既存のテキストをなぞるだけではなく、我が国の理学療法士の集団として、セオリーと思いやりに裏打ちされた技術を高めあう土壌が豊かになればよいと思う。

昭和大学保健医療学部理学療法学科 山崎 弘嗣



求人案内

ボンセジュールはるひ野

理学療法士・作業療法士

ベネッセスタイルケアが運営しているホームにて、ご利用者様への機能評価や個別リハビリプログラムの作成していただき、実際に個別リハビリ、集合理ハビリなどを行っていただきます。

また、リハビリや健康体操のマニュアル作成や介護用品の選定もお願いします。

募集人数：契約社員（2013年9月末まで予定） 1名

資格：理学療法士・作業療法士の資格免許をお持ちで
経験5年程度（うち病院経験3年以上ある方可）
・高齢者のリハビリ(各高齢者施設や訪問リハ等)
経験のある方可

勤務内容：1. ご入居者に対する以下のサービス提供

- (1) 入居時の機能評価
- (2) 個別リハビリプログラムの作成
- (3) 個別リハ
- (4) 集団リハ
- (5) リハ、健康体操マニュアル作成
- (6) 介護用品の選定(相談による)

2. スタッフとの連携

- (1) スタッフへの日常リハの送り
- (2) トランスなどのスタッフ指導
- (3) ミーティングでの指導

勤務時間：9:00～18:00（前後する事もございます）

休日：4週8休制(月9日公休、28日迄の月は8日公休)、
前・後期休暇（各3日）、有給休暇

待遇：【月給】32万～36万 ※経験による
残業手当、年末年始手当、社会保険完備、
交通費全額支給、
ベネッセグループ共済会（福利厚生）、
スポーツクラブ割引・医療費補助・保養所等

勤務地：小田急多摩線「はるひ野駅」下車、徒歩5分

応募方法：下記送付先住所へ、①ご希望の勤務地と②職歴(担当した科迄)を明記した履歴書を送付してください。

【履歴書送付先】

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷2-17-5 シオノギ渋谷ビル9階

株式会社ベネッセスタイルケア 平子宛

※応募書類は返却できかねますので、

予めご了承ください。

連絡先：0120-484-174

担当：佐藤

メールアドレス：nsptot@benesse-style-care.co.jp

URL：http://www.benese-style-care.co.jp/

医療法人 社団博慈会 青葉さわい病院

理学療法士・作業療法士

横浜市青葉区あざみ野にある地域に根ざした170床の病院です。一般病棟、回復期病棟、療養病棟、訪問リハビリテーションと、患者様がより良い生活を送ることが出来るようチーム一丸となってリハビリテーションを提供しています。

病院主催、リハビリテーション科主催の勉強会および研修会も積極的に実施しており、地域での講習会や勉強会にも積極的に取り組んでおります。

人と人が関わる仕事ですので、ハード面だけでなく、患者様の為に力を合わせながら一所懸命頑張ることが出来る人材を育てられるよう努力しております。

募集人数：常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：運動器（脊椎/スポーツ膝）・脳血管の急性期、
回復期、慢性期の運動療法

勤務時間：9:00～18:00（8:45～17:30に変更予定）

休日：週休二日制（日・祝交代勤務有り）

有給休暇

年末年始・夏季休暇・年次有給休暇等

待遇：月給：230,500円～（新卒者の場合）

賞与年2回

通勤手当有り

社会保険完備

勤務地：東急田園都市線、

横浜市営地下鉄ブルーライン「あざみ野」駅

→バス5分「大場町」バス停

→徒歩1分

概要：■診療科目■

内科、整形外科、リハビリテーション科

■リハビリ分類■

急性期、回復期病棟、療養病棟、訪問リハビリ

■リハビリテーション科 職員数■

理学療法士 12名

作業療法士 5名

言語聴覚士 2名

応募方法：まずはお電話、またはメールにて「求人の件」とお問い合わせ下さい。

見学も随時受け付けております。

連絡先：〒225-0004

青葉区元石川町4300

TEL：045-903-9848 FAX：045-901-0023

担当：総務/主任 矢部 知美

メールアドレス：tomomi.yabe@int.aoba-sawai.or.jp

URL：http://www.aoba-sawai.or.jp/

求人案内

医療法人 湘南信和会 湘南整形外科

理学療法士募集

2012年1月よりPTによるリハビリテーション室を増設し、運動器疾患に対し、疼痛の緩和、機能回復、自己管理（予防）法、指導等を目的に運動療法・徒手療法を行っています。

募集人数：常勤1名

資格：有資格者

勤務内容：PT

勤務時間：月火水金 8:30～18:30 / 土 8:30～17:00

休日：木・日曜日・祝祭日。年末年始休暇。夏季休暇。

待遇：月給240000万円以上（諸手当こみ）、年収380万円以上（賞与年2回含）当院規定による。※試用期間3カ月有。社会保険、各種保険完備。交通費全額支給（上限あり）

勤務地：東海道線「平塚」駅下車

バス5分「浜岳」下車 徒歩1分

概要：2012年1月より徒手療法によるリハビリテーション室を増設しました。

応募方法：電話連絡のうえ写真付き履歴書送付

連絡先：〒254-0824

神奈川県平塚市花水台31-15

TEL：0463-37-4181 FAX：0463-37-4182

担当：大島 良介

URL：http://www.shonan-seikei.com

社 横浜市旭医療センター訪問看護ステーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

旭区医師会立の訪問看護ステーションです。訪問リハビリは、医師、看護師との連携を密にし、地域に根差したケアを提供しております。

利用者様が「自分らしく生きる」ことを目標に、一緒にお手伝いして頂ける方をお待ちしています。

募集人数：常勤1名 非常勤数名

資格：有資格者

勤務内容：在宅療養をされている方へのリハビリ提供

勤務時間：9:00～17:00

休日：土日・祝祭日

年末年始（12/29～1/3）

待遇：基本給、調整手当は規程による。

社会保険完備、有給休暇あり。

交通費全額支給。

勤務地：横浜市旭区二俣川11-88-16

概要：旭区休日急患診療所隣接

応募方法：写真付履歴書を送付

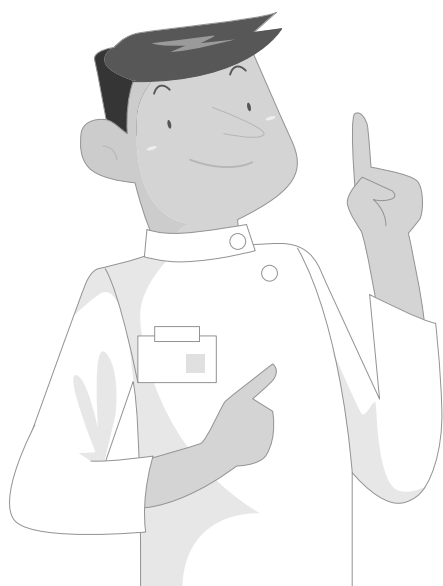
連絡先：〒241-0821

旭区二俣川11-88-16

旭医療センター訪問看護ステーション

担当：管理者 神門（かみかど）

メールアドレス：asahi-kango@mvc.biglobe.ne.jp



求人案内

リハスタジオ鎌倉由比ガ浜

理学療法士

機能訓練（運動・リハビリ）に特化した通所介護施設（デイサービス）です。入浴・食事のサービスはなく、自立度の高い利用者を中心です。約3時間のプログラムで最大午前30名・午後30名が利用されます。同ビル1階にグループ母体の整形外科があり、連携を取りながら運営しております。

募集人数：1名（常勤）

資格：理学療法士資格・普通自動車運転免許

勤務内容：利用者の機能訓練（ストレッチ・マッサージなど）
送迎・事務など

勤務時間：8：00～17：00（月20時間程度の残業あり）

休日：土・日・祝のほか年末年始、夏季休暇あり。
有給休暇有り。

待遇：基本給（職能給+年齢給）25万円以上。賞与・昇給は業績に応じ有り。ほか、業務手当・資格手当・通勤手当・その他の手当については規程により支給いたします。

勤務地：江ノ電和田塚駅より徒歩1分
（JR鎌倉駅より徒歩10分）

概要：午前30名・午後30名

応募方法：電話もしくはE-mailで連絡の上、写真付履歴書を送付してください。面接等の詳細については追ってご連絡差し上げます。見学大歓迎です。スタッフ一同お待ちしております。

連絡先：〒248-0014

神奈川県鎌倉市由比ガ浜3-1-10 池田ビル3階

TEL：0467-38-3035 FAX：0467-25-6948

担当：羽太（はぶた）

メールアドレス：habuyu24@tcctf.com

URL：http://www.tcckaigo.com

株式会社ツクイ

理学療法士（正社員）

募集人数：5名

資格：理学療法士

勤務内容：高齢・障がいをお持ちのお客様に、個別・グループ運動療法実施、福祉用具アドバイス、家族への指導など総合的にサポートすることでお客様のQOLの維持・向上を目指すお仕事です。

勤務時間：8：30～17：30

※事業所により異なる場合があります

休日：週休2日制

リフレッシュ休暇（月1日※試用期間は対象外）、有給休暇

待遇：日給月給221,900円～275,000円（試用期間3ヶ月間は時給1,320円～1,630円）

社会保険完備、通勤交通費（月額50,000円まで）、ツクイ倶楽部（福利厚生制度）など

勤務地：神奈川県にあるツクイのデイサービス・有料老人ホーム

概要：株式会社ツクイ（東証一部）

事業内容：在宅介護事業・有料老人ホーム事業・人材開発事業

事業所数：47都道府県512事業所

従業員数：14,000人

応募方法：応募書類（写真付履歴書・職務経歴書）を人事部/採用担当宛で送付してください。

連絡先：〒233-0002

神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-16F

TEL：045-842-4135

担当：人事部 森山（モリヤマ）

メールアドレス：jinji@tsukui.net

URL：http://www.tsukui.net/pt/



求人案内

医療法人社団 清伸会 ふじの温泉病院 老人保健施設 なごみの里

理学療法士募集

豊かな自然に囲まれた当法人は、精神(療養・認知症)・内科(療養)病棟472床、平成24年4月に完成した老人保健施設「なごみの里」120床からなり、天然温泉の快適環境の下で、医療・介護・リハビリ等を行う施設です。臨床経験豊富な指導者がおりますので、ご安心してご応募下さい。施設見学も随時対応しています。

募集人数：理学療法士・作業療法士ともに若干名

資格：有資格者

勤務内容：外来・入院患者に対するリハビリテーション業務

勤務時間：9：00～17：00（実働7時間 残業なし）

休日：4週6休 祝日 夏季・年末年始

有給休暇20日（平均消化率90%以上）

給与：当法人規定により優遇（経験年数考慮）

待遇：社会保険完備 賞与：6ヶ月＋業績賞与（23年度実績）退職金制度 交通費規定により支給
永年勤続旅行 車通勤可（駐車場完備）

研修：各種研修制度 学会・研修会出張奨励

勤務地：JR中央線藤野駅より無料シャトルバス15分

応募方法：電話連絡の上、履歴書持参又は郵送下さい。

その他：入職日は相談に応じます。

連絡先：〒252-0185

神奈川県相模原市緑区牧野8147-2

TEL：042-689-2321(代)

担当：人事/山本

メールアドレス：j-yamamoto@fujino-hp.or.jp

URL：http://www.fujino-hp.or.jp/

(社福) 蓬萊会 特別養護老人ホームケアプラザさがみはら

理学療法士

平成24年6月1日に相模原市緑区に新規オープンいたします。社会福祉施設運営32年のノウハウを相模原市の皆様に福祉サービスとして提供していきたいと考えております。是非、社会福祉法人蓬萊会で共に福祉施設のプロを目指しましょう。

募集人数：常勤 非常勤 若干名

資格：有資格者

勤務内容：老人福祉施設利用者に対するリハビリ指導・実施及び職員に対する指導

勤務時間：常勤：9:00～18:00 非常勤：応相談

休日：年間休日108日

待遇：基本給、調整手当は、規程による。社会保険完備、交通費規程支給、育児・介護休暇、扶養手当有
試用期間原則3ヶ月、車通勤可

勤務地：JR横浜線橋本駅よりバス15分

概要：老人福祉施設130名、短期入所生活介護施設10名

応募内容：電話連絡の上、写真付き履歴書及び職務経歴書、資格証(写)を送付

連絡先：〒252-0135

神奈川県相模原市緑区大島295番地

(特別養護老人ホームケアプラザさがみはら)

TEL：042-713-3818

法人本部連絡先：0883-63-6065

担当：ケアプラザさがみはら：田中 法人本部担当：山川

メールアドレス：horai.shinki@gmail.com

URL：http://www.shikoku.ne.jp/horai/

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

義肢・装具・車椅子・座位保持・住宅改造



(有)湘南義肢研究所

時代のニーズに合わせた義肢・装具づくり

例えば、金属支柱付靴型下肢装具を

一枚の皮から全てフルオーダーで作り上げます。

納期は最短一週間。我々はそういう会社です。

横須賀市小川町27

tel 046-822-6722

fax 046-822-6425

http://sp-i.co.jp

社団法人 鶴見メディカルセンター訪問看護ステーション

理学療法士募集

鶴見区医師会が母体の安定した事業所です。現在、区内に訪問看護ステーション3ヶ所と居宅介護支援事業所があります。利用者のニーズに応える為、今回、初めて理学療法士の募集をいたします。訪問看護と連携を取りながら和気あいあいとした職場で働きませんか？在宅療養に興味があり、やる気のある方の応募をお待ちしています。

募集人数：常勤1名

資格：有資格者

勤務内容：在宅療養をされている方へのリハビリ提供

勤務時間：9：00～17：00

休日：土日・祭日 年末年始（12／29～1／3）
夏季休暇

待遇：基本給、調整手当は、規程による。
社会保険完備、有給休暇あり。交通費全額支給

勤務地：横浜市鶴見区鶴見中央（JR鶴見駅徒歩3分・京急鶴見駅徒歩1分）

概要：鶴見区休日急患診療所と同じ建物にあり。

応募方法：電話連絡の上、写真付履歴書を送付

連絡先：〒230-0051

横浜市鶴見区鶴見中央4-21-3

鶴見区休日急患診療所内

TEL：045-503-1265 FAX：045-503-1266

担当：栗原

メールアドレス：marron@sawayaka-tsurumi.jp

URL：http://www.sawayaka-tsurumi.jp/

木原整形外科医院

理学療法士・作業療法士

地域医療拡張のための募集です。主な業務は訪問リハビリとデイサービスでのリハビリ業務です。木原整形外科医院グループでは常勤PT3名、非常勤PT2名、非常勤OT1名が勤務しています。臨床経験豊富な指導者おりますので安心してご応募ください。お近くにお住まいの方、是非ご応募下さい。

募集人数：常勤、非常勤 若干名

資格：有資格者 普通自動車もしくは
原付バイクが運転出来る方

勤務内容：訪問リハビリ、デイサービスでのリハビリ

勤務時間：常勤：9時～18時、非常勤：9～18時で応相談（非常勤は週に1件から可能）、半日勤務も可能

休日：週休2日

待遇：常勤：月給25万～、賞与、年末年始休暇、夏季休暇あり。社会保険完備、有給休暇あり。常勤は交通費月1万円まで支給。非常勤：1件（40分の訓練）2800円～（交通費を含む、経験等により応相談）

勤務地：横浜市金沢区六浦2-1-20
（京急線金沢八景駅から徒歩約8分）

概要：訪問エリア：金沢区内、横須賀北部の一部

応募方法：電話、Faxまたはメールでご連絡お願いいたします。

連絡先：TEL：045-781-3636 FAX：045-781-3630

担当：木原

メールアドレス：kaigo@k-cosumosu.com

URL：http://www.cosumosu.co.jp/



Daiwa House
大和ハウスグループ

ロボットスーツ HAL® 福祉用は全国で稼動中。
デモンストレーション好評受付中！

お住まいのことからロボットまで。
お気軽に下記までお問い合わせください。

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

大和ハウス工業株式会社

東京都千代田区飯田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進部 ロボット事業推進室

メンタルコミットロボット
パロ 好評癒し中。



デイ・ケア湘南

理学療法士・作業療法士

無床診療所に併設された、通所リハビリテーション施設です。定員20名の小規模施設ですので、1人1人の利用者さんに緊密なサービスが提供できると思います。

募集人数：1名（非常勤）

資格：有資格者

勤務内容：通所リハビリテーション施設内での、
リハビリテーション業務

勤務時間：10：00～16：00（休憩時間45分）

休日：日曜日・年末年始休暇（12月29日～1月3日）

待遇：日給：10,000円（土曜・祭日、12,000円）

勤務地：JR茅ヶ崎駅より徒歩15分

概要：通所リハビリテーション

応募方法：電話連絡の上、写真付き履歴書送付

連絡先：TEL：0467-84-0630 FAX：0467-84-0661

担当：鈴木（施設長）

メールアドレス：hibari216@yahoo.co.jp

URL：http://www.s-sclinic.jp

求人情報はホームページでも確認できます。

<http://www.pt-kanagawa.or.jp/members/recruit2/>

「復職支援実務研修」のお知らせ

県士会では、復職に不安を感じている離職中の人を対象に、実務研修を通じて復職に自信をもってもらうための研修を企画しています。参加希望者募集中です。詳しくはホームページをご確認ください。

期 日：平成24年6月～平成25年2月の5日間

受講料：5000円

募集定員：各施設2名

研修施設：急性期病院（聖マリアンナ医科大学病院）

回復期病院（南大和病院）

訪問リハビリ（足柄リハビリテーションサービス）
の3施設から選びます。

研修できる施設は増やしていく予定です。

県士会ホームページをご確認ください。

応募方法：①氏名 ②年齢 ③性別 ④連絡先

⑤希望施設 ⑥離職状況をご記入の上、

下記の応募先へメールでお申し込みください。

こちらから応募内容の確認のため再度ご連絡いたします。

応募・問い合わせ先

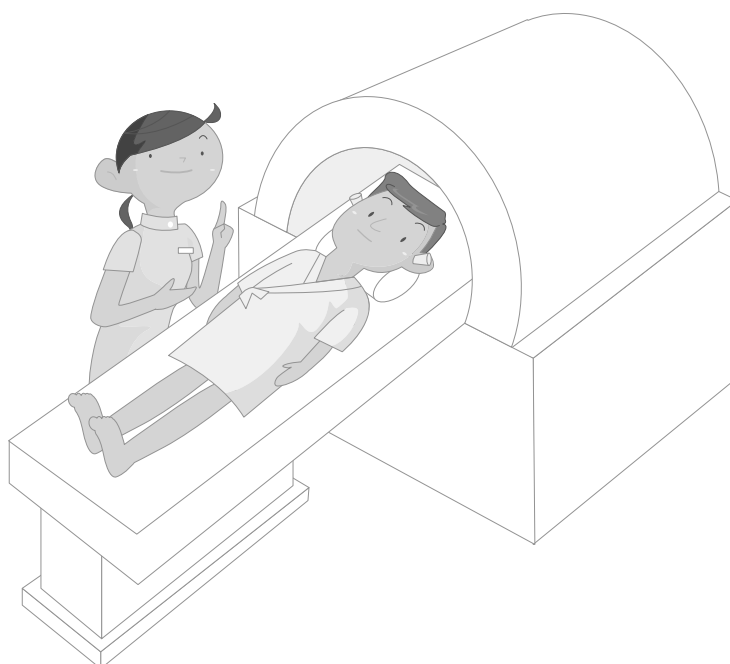
lifesupport@pt-kanagawa.or.jp

神奈川県理学療法士会会員ライフサポート部

寺尾詩子

応募締め切り

平成24年12月25日



編集後記

5月末に兵庫県神戸市で開催された第47回全国理学療法学会に参加しました。学会初日の早朝から、受付通路で2年後に迫った第49回神奈川県学会のアピールのために、生まれて初めてポケットティッシュを配りました。そのティッシュには、第49回大会の概要を紹介した印刷物が入っていて、限定3000個の超レアものだったんですよ。そんな理由で、直ぐになくなってしまったポケットティッシュを首尾よくゲットできた強者は大事にして下さい。そうそう余談ですが、初めてのポケットティッシュ配りですから、どんな風に配ったらいいのだろうかと思案していたら、A会長の実に巧みなこと。フットワーク良く、手際よく、そつなく、臆すことなく、次々と来場者に渡しているではないですか。さすがは会長！、人生の達人の妙技をみた瞬間でした（笑）。

ということで、神奈川県横浜市で開催される第49回学会も開催まで2年を切りました。今後、士会ニュースには学会成功に向けて、さまざまな情報が載ることとなります。会員みなさんは他人事と思わず、ぜひ各自が広報部員を担っているような自覚を持って頂き、熱い支援をお願いしたいです。編集部と致しましても、これまで以上にわかりやすく、興味の湧くような紙面を作成し、第49回の学会の成功を後押ししていきたいと思っております。今後とも、よろしく願います。

中村

次号の原稿締め切りは**8月6日**です。
 昭和大学保健医療学部理学療法学科（ニュース編集部宛）
 FAX **045-985-7584**
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp
 〈原稿は添付ファイルをお願い致します〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用下さい。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしく
 お願い致します

●お詫び●

士会ニュース No245 において誤植がありました。

P4 活動報告

誤：家族介護に関するアンケート調査報告／会員ライフサポート部活動報告 第2報

正：家族介護に関するアンケート調査報告 第2報
 ／会員ライフサポート部活動報告 第33報

となります。

関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを、お詫びいたします。

◆ニュース編集部員◆

担当理事：坪内 敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）
 部長：加賀谷善教（昭和大学保健医療学部）
 部員：中村 大介（昭和大学保健医療学部）
 山崎 弘嗣（昭和大学保健医療学部）
 稲葉 康子（昭和大学保健医療学部）
 加茂野有徳（昭和大学保健医療学部）

Wheelchair for Seating



日本ウイール・チェア株式会社
 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
 TEL 0424-63-1511 FAX 0424-63-3730
 ○九州支店 TEL 093-613-2833 FAX 093-613-2854
 ○関西支店 TEL 06-6391-6022 FAX 06-6391-0927
 ○千葉支店 TEL 043-264-4939 FAX 043-264-4935
 ○福島支店 TEL 0245-46-6981 FAX 0245-45-0800



そのほか当社では
 福祉用具レンタル・販売
 も取り扱っています



車いすなんでも相談

